

令和5年度 地域活動シンポジウム プログラム



日時 令和6年1月20日(土) 10時00分～11時40分
場所 小田原三の丸ホール（小田原市本町1-7-50）
主催 小田原市地域活動推進協議会(※) 小田原市自治会総連合
協力 小田原市
※地域活動推進協議会については裏表紙をご覧ください

地域活動シンポジウム 次第

日 時 令和6年1月20日(土)
10時00分～11時40分
場 所 小田原三の丸ホール
司 会 小田原市自治会総連合
総務部会長 宮内 宏人

- 1 開会のことば 小田原市地域活動推進協議会 副会長 岡田 健
(小田原市民生委員児童委員協議会会長)
- 2 主催者あいさつ 小田原市地域活動推進協議会 会 長 川口 博三
(小田原市自治会総連合会長)
- 3 来賓紹介
- 4 小田原市地域活動推進協議会構成団体紹介
- 5 おだわら地域力市民力表彰式
- 6 祝辞
- 7 シンポジウム
【事例発表】
 - ①十字地区まちづくり委員会 委員長 堀内 貞治
 - ②大窪地区まちづくり実行委員会 副委員長 秋山 健
 - ③小田原市地区社会福祉協議会連絡協議会 岡辺 直樹
(桜井地区社会福祉協議会 事務局長)
- 8 閉会のことば 小田原市地域活動推進協議会 副会長 本多 茂
(小田原市子ども会連絡協議会会長)

第14回おだわら地域力市民力表彰受賞者の皆さん (敬称略)

万年地区 石田 玲子

登校時の子どもの見守り他、公園清掃や花の植栽、地域の各種行事への積極的な参加など、地域振興に多大な貢献をしている。



幸地区 長能 富士子

避難行動要支援者に対し、防災リーダーと共に現場確認を行うなどの活動を実施し、有事に備えている。また、地域の医療機関と連携し健康教室を開催するなど、地域福祉に多大な貢献をしている。



二川地区 下田 誠一

小田原囃子多古保存会の設立当初から同会で活動し、50年以上にわたり民俗芸能の保存や後継者の育成に尽力するなど、地域振興に多大な貢献をしている。



第14回おだわら地域力市民力表彰受賞者の皆さん (敬称略)

富水地区 小台囃子保存会

創設以来36年間にわたり、伝統文化である祭囃子の伝承、青少年の健全な育成に取り組むとともに、高齢者施設の慰問や地域住民との交流会を実施するなど、地域振興に多大な貢献をしている。



桜井地区 西之庭ひだまりの会

ふれあいサロンを定期的に地域で開催し、常に参加している人が欠席した際には健康状態の確認を行うなど、高齢者の見守りも行っており、地域福祉に多大な貢献をしている。



酒匂・小八幡地区 五十嵐 尚美

11年間にわたり民生委員・児童委員を務め、高齢者の見守りなどに尽力し、まちづくり委員会の一員としても世代間交流を積極的に図るなど、地域振興に多大な貢献をしている。



第14回おだわら地域力市民力表彰受賞者の皆さん (敬称略)

下府中地区 しもふなかコンパス

医療介護の専門職と地域でさまざまな活動をしている人たちと連携し、認知症フレンドリー社会の創成に向け、多様な活動を積極的に進めており、地域福祉に多大な貢献をしている。



富士見地区 早野 格郎

富士見地区社会福祉協議会において地域福祉の発展に尽力するとともに、広報委員長として広報紙「社協ふじみ」の発行に携わり、地域活性化のための広報活動に多大な貢献をしている。



上府中地区 千代小学校おやじの会

千代小学校の教育活動や PTA 行事などを応援サポートする団体として、15 年間にわたり会員相互の親睦を深め、学校や PTA に多大な貢献をしている。



十字地区まちづくり委員会

～歴史と文化のいぶきの中でみんなで守ろう豊かなまちを～

委員長 坂内 貞浩

令和5年度 地域活動シンポジウム
令和6年1月20日(土)
小田原三の丸ホール



御幸の浜海岸

十字地区の紹介 ①



西達子小路の桜並木

小田原文学館

旧茶本町吉列駅

南町1 三の丸

南町2 本町

南町3 小田原文学館

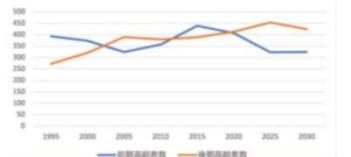
早稲川

1

十字地区の紹介 ②

- 人口 3,187人 (世帯数1,440)
- 自治会 第28区 第29区 第30区 第31区 第32区
- 高齢化率 30.9%

十字地区 高齢者(世代)の推移



2

十字地区まちづくり委員会の概要

- 設立 平成24年3月 設立
- 委員数 22人 (令和5年4月現在)
- 構成団体等
 - 自治会 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会
 - 青少年健全育成会 消防団 防災リーダー
- 主な取組分野 防災 福祉

3

十字まちづくり委員会 活動概要 ①

防災

お年寄りから子どもまでのコミュニケーションが地域の連携を強くし災害に強いまちづくりを目指す

福祉・健康

子どもとお年寄りがふれあうまちづくり

この他
防犯、交通安全、生活・環境、文化・教育、特色ある地域づくりに取り組む



地域別計画
(別冊・平成28年度改定版)
平成28年3月
小田原市

4

十字まちづくり委員会 活動概要 ②

- 設立当初は防災分科会を設置し、防災分野に注力
 - 津波避難案内経路図の作成
 - 災害図上訓練の実施
 - 安否確認のための物品購入 等々
- 平成30年度には福祉分科会を設置し、生活応援隊事業(「十字おたすけ隊」)に取り組んでいる

5

防災分科会の活動 ①

平成24年度 津波避難案内経路図の作成
自主防災組織防災計画の確認



6

防災分科会の活動 ②

平成25年度 災害図上訓練 (DIG研修) の実施
初級編と中級編の研修を実施
地区ごとに街歩きして地域の状況を
確認した



7

防災分科会の活動 ③

平成26年度 高齢者等の安否確認や応急救護の実技講習
普通救命講習
平成30年度



8

防災分科会の活動 ④

令和元年度 防災講演会の開催
防災ブースの出店 (三の丸小学校わくわくフェスタ)
令和5年度



9

福祉分科会の活動 ①

平成30年度 福祉分科会の設置
生活応援隊事業の開始準備

- 住民アンケートの実施 (全戸対象)
使いたいサービスやサポーターへの参加希望
- おたすけ隊の規約づくり
- サポーター説明会・サポーター募集
- おたすけ隊の利用案内パンフレット全戸配布

10

福祉分科会の活動 ②

令和元年度 「十字おたすけ隊」 (生活応援隊事業) 開始
コーディネーター 5人
サポーター 16人
(令和5年10月現在)

草むしり	500円/時間	原則2人に対応
ごみ出し	100円/回	

11

福祉分科会の活動 ③

- 令和2年度
令和3年度 「十字おたすけ隊」の実施と活動報告
(生活応援隊事業)
- 令和4年度 「十字おたすけ隊」情報交換会 等々
- 令和5年度 「十字おたすけ隊」サポーター説明会
運営マニュアルの見直し



※「十字おたすけ隊」利用案内チラシは全戸配布（毎年）

12

福祉分科会の活動 ④

十字おたすけ隊 活動実績	活動内容	利用件数	活動サポーター 人数
令和2年度	ごみ出し	57	57
	草むしり	5	10
令和3年度	ごみ出し	55	55
	草むしり	5	11
令和4年度	ごみ出し	32	32
	草むしり	6	19

13

地域活動の担い手不足に向けた取組

- 自治会活動の住民ニーズを把握するため、住民が大事にしている事や誇りに思うことなどにかかる全住民アンケートを実施中
(第32区自治会)
- 自治会活動を見える化し、継続ニーズの低い事業の実施を見直して負担軽減を図りたい



十字まちづくり委員会
担い手育成支援講座

14

ご清聴ありがとうございました

ち 違いを活かす
ほ 方法はひとつではない
う うまくいかないことも大切にする
そ 創造力を総動員
う 生み出す知恵を
せ 生活(暮らし)に結びつけて
い いいまちつくり

(株)カンントリー・ラボ
NPO法人湘南NPOサポートセンター 宮崎道名



静山荘

大窪地区 まちづくり実行委員会 活動報告

副委員長
健康・福祉分科会長 **秋山 健**

大窪地区ってどこ？どんな所？

しだれ桜尊
小田原板橋地蔵尊

大窪地区まちづくり実行委員会とは

平成21年の地域別計画策定後、市内では富水地区に次いで2番目に、地域コミュニティ組織である「まちづくり運営委員会」が生まれ、平成22年度から「まちづくり実行委員会」と組織を変え、活発に活動しています。

健康・福祉分科会
(健康ウォーキング)

防災分科会
(防災教室)

発足後からの活動

- あいさつ運動
地域コミュニティの醸成に必要なのはお互いの顔が見える関係作りが第一と考え、あいさつ運動を実施
- 防災意識向上の啓発ポスターの作成、配布
地域における防災意識向上の啓発ポスターを作成し、全家庭に配布
- 大窪地区注意箇所マップの作成、配布
「大窪地区注意箇所マップ」を作成し、全家庭に配布
- ごみの分別に取り組もう
大窪学区連合子ども会と協力し、小学生が啓発ポスターを作成
- 大窪地区の文化遺産を知ろう学ぼう (ウォーキングマップの作成)
大窪地区の文化遺産を記したウォーキングマップを作成

発足から平成25年度までの活動実績

防災意識向上の啓発ポスター
わが家の防災力を高めよう
「避難経路」と「避難場所」
大窪地区注意箇所マップ

大窪地区注意箇所マップ

大窪地区の文化遺産を知ろう学ぼう

観光客や地域住民に大窪地区の魅力伝えるために、大窪地区の主な文化遺産の場所を記したウォーキングマップを作成しました。(平成25年度)

大窪ウォーキングマップ
大窪地区の文化・史跡を巡る

健康ウォーキングの様子①



健康ウォーキングの様子②

台風19号の被害を受けた箱根登山鉄道を応援するため、令和2年度は「箱根登山線の歴史を学び電車に乗ろう」をテーマにウォーキングを開催しました。



健康ウォーキングの様子③



車窓の風景を身を乗り出して



車内で被害の説明を受ける



強羅駅で記念撮影

健康ウォーキング実績

年度	第1回	第2回
H28	細川忠興公の富士山岩と紅葉の板橋散策	小田原の歴史探索 一夜城を歩く
H29	早川駅から米神方面へのウォーキング	入生田駅から箱根湯本方面へのウォーキング
H30	小田原城・小田原古城を歩く	小田原城を歩く
R1	小田原文学の道と七福神めぐり	【コロナ禍で中止】
R2	箱根登山線の歴史を学び電車に乗ろう	【コロナ禍で中止】
R3	箱根登山鉄道小田原市内線の痕跡を訪ねる	白秋童謡の散歩道を歩く
R4	小田原の歴史的町名碑を歩く	【荒天中止】久野古墳群を巡る
R5	小田原合戦での家康の足跡を訪ねる	計画中（3月に開催予定）

今後の取組について

健康・福祉分科会では、今後もウォーキング事業に取り組む予定です。地域住民の健康増進を図りながら、いずれは観光で来られた方にもガイドをできるようにしたいです。

これまでの活動を振り返り、継続すべきものは継続していき、お年寄りのサロン活動の検討など「新たなテーマ」を見つけながら活動の幅を広げていきます。

今後の取組について

防災分科会では、いつ起こるか分からない災害に対して、引き続き防災教室などの啓発活動を継続していきます。

地域全体で健康増進や防災啓発に取り組み、小田原市の中で、大窪が「地域主体のまちづくり」のモデル地区になれるように努力していきます。

魅力ある大窪地区をつくっていきます。

ご清聴ありがとうございました。

桜井地区社会福祉協議会の 活動について

地域活動シンポジウム
令和6年1月20日(土)
小田原三の丸ホール

桜井社協の主な事業

1. 役員会
2. ラジオ体操
3. 広報さくらい
4. きずなチーム活動
5. 男性がもてなす昼食会



1. 役員会

- ・日時 毎月第1木曜日13:30~
- ・会場 地域包括支援センターさくらい
- ・構成

1	会 長	下 田 成 一	前地区自治会連合会会長
2	副 会 長	山 本 寛	民生委員児童委員協議会会長
3	副 会 長	鈴 木 俊 弘	地区自治会連合会副会長
4	会 計	安 藤 邦 子	元民生委員
5	役 員	片 山 勝	老人クラブ連合会会長
6	役 員	小 澤 治 枝	元民生委員
7	役 員	和 田 浪 子	民生委員児童委員協議会
8	事務局 長	岡 辺 直 樹	学識経験者

1. 役員会



2. ラジオ体操

尊徳の里 < 土曜日の朝は、
ちょっと早起き! >

ラジオ体操

毎週**土曜日 朝7時から**
会場は、**尊徳記念館** です! <

2. ラジオ体操





2. ラジオ体操

3. 広報さくらい

- 発行月 5月、8月、11月、2月
- 印刷部数 4,600部
- 体裁 A3版二つ折り 両面カラー印刷 上質紙90kg
- 配布方法 自治会長宅へ送付し全戸配布
- 経費 1回約5万円(送料含む)
- 特徴 写真・イラストを多く使用。文字は少なめに。

<令和5年8月号> <令和5年11月号> 3. 広報さくらい

3. 広報さくらい

<令和5年5月号>

3. 広報さくらい

答え合わせ 皆さん、できましたか？
一緒に答え合わせしましょう！

●日時：11月29日(水) 14:00～17:00

●場所 ①地域包括支援センターさくらい
②集客スペース(桜井小学校前)
※どちらにお越しいただいても結構です。プレゼントを用意してお待ちしています！

↓

2,500円のお菓子の詰め合わせを用意。

↓

76個プレゼントしました！

4. きずなチーム活動

チーム員
ボランティア、自治会関係者、元民生委員など
約80名

目標

- 孤独死のないまちに
- 特殊詐欺の被害者のないまちに
- 児童虐待、高齢者虐待のないまちに

活動

買い物や仕事の行き帰り、散歩やウォーキングしながら、
異変に早く気付く「地域の目」「地域の耳」
民生委員に早く連絡する「地域の声」
となる。

あれ~ちょっとおかしいな?

洗濯物をずつと干したまま
電気は屋も夜中も点灯したまま
新聞や郵便物が溜まったまま
雨戸が開ったまま(開けたまま)
いつも辺き叫ぶ声する
見慣れない人が頻りに訪問している

きずなチーム情報交換会
活動にかかる研修や情報交換の場として年2回開催

4. きずなチーム活動



きずなチーム情報交換会
活動にかかる研修や情報交換の場として年2回開催

4. きずなチーム活動



5. 男性がもてなす昼食会

1. 目的 男性の地域活動の参加促進
2. きっかけ 2015年男性のための料理教室
(健康おだわら普及員事業)
3. 実施 年4回
4. 会場 尊徳記念館食堂
5. 参加者数 地域の高齢者40名、スタッフ20名

5. 男性がもてなす昼食会

お口書き

カマスのフライ
ポテトサラダ
豚汁
甘味(和菓子・みかん)

私たちが、心を込めて調理しました。
お食事をしながら、
楽しいひと時を
お過ごしください。

桜井地区社会福祉協議会
赤上フロン隊



5. 男性がもてなす昼食会



5. 男性がもてなす昼食会



最後に、ひとこと

地区社協役員の交流をもっと深めませんか？

ご清聴ありがとうございました！

桜井地区社会福祉協議会 岡辺直樹

小田原市地域活動推進協議会とは

小田原市内の地域活動団体が相互に連絡協調を保ち、それぞれの団体活動及び各地域の活性化を目的として設立された団体です。

(構成団体)

小田原市民生委員児童委員協議会

小田原市青少年健全育成連絡協議会

小田原市PTA連絡協議会

小田原市老人クラブ連合会

小田原市子ども会連絡協議会

小田原市青少年育成推進員協議会

小田原市地域婦人団体連絡協議会

小田原市健康おだわら普及員連絡会

小田原市地区社会福祉協議会連絡協議会

小田原市消防団

小田原少年補導員連絡会

小田原警察署管内防犯指導員協議会小田原支部会

公益財団法人 小田原市体育協会

公益社団法人 小田原青年会議所

小田原市自治会総連合